

NO.	交付金対象事業名称		事業目的・概要								
1	住民相互のまちづくりへの意識醸成事業		地域の住民、移住者相互の交流を図り、地域の防犯機能強化のため安全・安心ステーションを設置し、地域防犯指導員による安全・安心のまちづくりのための講習会を開催することによりまちづくりの機運醸成を図る。またボランティアへの斡旋を図ることと同時に、本市の中心市街地に立地する施設の特徴を生かし、観光案内機能も兼ね備え、市外の観光客も気軽に訪れる場の創出を図る。								
総合戦略の位置づけ											
安心・安全のまち「セーフコミュニティ」の推進											
事業開始		事業終期									
令和2年4月		令和3年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	安全・安心ステーション（地域安全ステーション）整備事業		30,558,000	30,558,000	15,279,000	15,279,000	設計・監理業務委託、建設工事				
2	安全・安心ステーション（地域安全ステーション）整備に伴う備品及び消耗品購入等		1,305,982	1,305,982	652,991	652,991	備品、消耗品、Wi-Fi整備				
3											
4											
5											
合計（円）			31,863,982	31,863,982	15,931,991	15,931,991					
重要事業評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R2	R3	R4	R5	R6	増加分累計
1	施設利用者数	人	0	目標値	0.00	1,500.00	250.00	300.00	400.00	2,450.00	
				実績値	0.00					0.00	
2	施設でのまちづくり講習会参加者数	人	0	目標値	0.00	100.00	10.00	20.00	30.00	160.00	
				実績値	0.00					0.00	
3	事業を通じたボランティア数	人	0	目標値	0.00	3.00	3.00	4.00	4.00	14.00	
				実績値	0.00					0.00	
4				目標値						0.00	
				実績値						0.00	
事業効果	効果の有無はまだ分からない	整備対象施設の供用開始前であるため									
今後の方針											
評価											

NO.	交付金対象事業名称		事業目的・概要								
2	生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備は、都留文科大学に隣接する遊休地（約10,000㎡）に整備し、拠点内にはコワーキングスペースや職業紹介所機能（仕事面）、子育て関連施設（若者世代）、移住のワンストップ窓口（移住相談）の機能を有するとともに、多くの方が気軽に立ち寄れるようカフェレストランや物販コーナーなども設け、生活全般を通じた多世代の交流を推進する。 また、このエリアには都留文科大学の留学生用学生寮の計画もあるため、交流拠点での交流を通じて各国の文化や習慣など、国際交流・多文化交流のソフト事業を展開することも可能となる。このように、学生、高齢者、子どもを含めた子育て世代などが集まることで、世代や国籍をも超えた「ごちゃまぜ」コミュニティを形成し、全員が生涯にわたって活躍できる受け皿と地域共生型による「全世代・多文化共生の場」の創出を目的とする。								
総合戦略の位置づけ											
生涯活躍のまち・つる事業の推進											
事業開始		事業終期									
令和2年4月		令和4年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象経費	財務内訳		実施内容				
1	生涯活躍のまち・つる地域交流拠点整備計画（複合型居住プロジェクト）		48,787,000	48,787,000	交付金	一般財源等	設計委託料、用地造成				
2											
3											
4											
5											
合計（円）											
重要事業評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R2	R3	R4	R5	R6	増加分累計
1	本事業を通じた移住者数		人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00	0.00	30.00	40.00	70.00 0.00
2	本施設のコワーキングスペースの利用者数		人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00	0.00	525.00	840.00	1,365.00 0.00
3	本事業の職業紹介を通じた就職者数		人	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00	0.00	5.00	5.00	10.00 0.00
4	都留文科大学の学生の卒業後の都留市への定着率		%	0	目標値 実績値	0.00 0.00	0.00	0.00	0.70	1.00	1.70 0.00
事業効果	効果の有無はまだ分からない		実施設計業務が完了していないため。								
今後の方針	事業の継続										
評価											

NO.	交付金対象事業名称		事業目的・概要								
3	地域資源を活用した関係人口創出事業		着地型・滞在型の体制を構築し、リニア中央新幹線営業運転開始後や富士山世界文化遺産ブームが去った後でも、本市を訪れた方等と関係を持ち続け関係人口化するため、現状の集客施設を強化し、まちの賑わいを創出する。								
総合戦略の位置づけ											
道の駅つるを中心とした地域活性化											
事業開始		事業終期									
令和2年4月		令和3年3月									
実施事業名			総事業費	交付金対象 経費	財務内訳		実施内容				
					交付金	一般財源等					
1	集客施設の強化		13,667,300	13,667,300	6,833,650	6,833,650	道の駅つるの整備事業、「名勝 田原の滝」整備事業、ふるさと納税等PR経費、「名勝 田原の滝」整備事業、観光モデルルート整備事業				
2											
3											
4											
5											
合計(円)			13,667,300	13,667,300	6,833,650	6,833,650					
重要事業評価指標 (KPI)			単位	事業開始前	KPI	R2	R3	R4	R5	R6	増加分累計
1	関係人口		人	1,367,738	目標値	35,162.00	100,300.00	108,900.00			244,362.00
					実績値	-305,569.00					-305,569.00
2	道の駅つるの来訪者		人	704,541	目標値	40,000.00	45,000.00	50,559.00			135,559.00
					実績値	-160,494.00					-160,494.00
3	支援事業を通じた新商品の開発件数		件	0	目標値	0.00	3.00	4.00			7.00
					実績値	0.00					0.00
4					目標値						0.00
					実績値						0.00
事業効果	地方創生に効果があった		KPIとして設定した観光客数はコロナの影響で達成できなかったが、ふるさと納税PRによる関係人口の増加を図れたり、デザインワークショップでの議論により、今後の道の駅つるのあり方について方向性が打ち出され、基本計画としてまとめたりできた。また、農業振興施策コーディネーターの雇用により、地域農家に対する支援体制が構築され、高収益作物(果樹)の生産農家や生産面積が拡大しており、農業振興に寄与する取り組みが推進できた。感染防止対策を徹底する中で、規模を縮小した代替の観光イベントを開催し、移動観光案内事業も実施することができた。また、道の駅つるを起点に、1時間程度で周遊できるコースについて地元の方からもご意見をいただき、令和2度末に案内板の設置が完了しており、観光振興に寄与する取り組みが推進できた。								
今後の方針	事業の継続		ふるさと納税のPR事業の成功により7万人以上関係人口が増加したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光イベントの開催中止やの観光施設の時短営業・営業自粛を強いられ、観光分野での関係人口が激減した。感染防止対策の徹底を図る中で、規模を縮小した観光イベントの開催やマイクロツーリズム等の事業展開を推進する。								
評価	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、ふるさと納税のPR事業の成功により関係人口が増加、農業振興に寄与する取り組みなど、まちの賑わい創出に一定の効果があった。今後は、感染防止対策の徹底を図り、観光イベント等の事業展開の推進に期待する。										